

## 表彰関係 Prizes

所外

賞の種類：JPSJ 注目論文（日本物理学会）

受賞件名：Experiment on Synthesis of an Isotope  $^{277}112$  by  $^{208}\text{Pb} + ^{70}\text{Zn}$  Reaction

受賞日：平成 19 年 3 月

受賞者：小浦 寛之（極限重原子核研究グループ）ほか 17 名

賞の種類：JPSJ 注目論文（日本物理学会）

受賞件名：Unconventional Heavy-Fermion Superconductivity of a New Transuranium Compound  $\text{NpPd}_5\text{Al}_2$ 

受賞日：平成 19 年 5 月

受賞者：芳賀芳範、松田達磨、立岩尚之、池田修悟、酒井宏典、山本悦嗣、中村彰夫、大貫惇睦  
（アクチノイド化合物磁性・超伝導研究グループ）ほか 4 名

賞の種類：応用物理学会 講演奨励賞

受賞件名：強磁性体シリサイド ( $\text{Fe}_3\text{Si}$ ) / 半導体 ( $\text{Ge}$ ) ヘテロ界面の原子層制御

受賞日：平成 19 年 9 月

受賞者：鳴海一雅、前田佳均（極限環境場物質探索グループ）ほか 5 名

## プレス発表 Press Release

タイトル：「超ウラン・ネプツニウム化合物で初めて超伝導を発見」

発表日：平成 19 年 5 月 25 日

担当者：芳賀芳範（アクチノイド化合物磁性・超伝導研究グループ）

東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター塩川佳伸教授、青木大助手、大阪大学大学院理学研究科の大貫惇睦教授らとの共同研究による成果。

## 基礎科学セミナー ASR Seminar

回	年月日	講演者	開催テーマ
312	19.4.24	Andrei Zvelindovsky (イギリス セントラルランカシャー大学)	Computer simulation of block copolymers under external fields
313	19.5.16	真下 茂 (熊本大学)	超重力場物質研究ことはじめ
314	19.5.30	神戸振作 (先端基礎研究センター) 芳賀芳範 (先端基礎研究センター) 木村貴海 (原子力基礎工学研究部門) 矢坂 毅 (量子ビーム応用研究部門) 田中健哉 (大洗研究開発センター 燃料材料試験部) 山口徹治 (安全研究センター)	第一回 JAEA アクチノイド科学ネットワーク研究会
315	19.6.22	市川隆敏 (理化学研究所)	深部サブバリア入射エネルギー反応で現れる融合障害への断熱的アプローチ
316	19.6.26	立花 章 (茨城大学)	低線量放射線による適応応答誘導と細胞内情報伝達機構
317	19.8.21	柳澤達也 (新潟大学)	充填スクッテルダイト化合物におけるオフセンターラットリング

## 外国人研究者招聘 Visiting Scientists

年 月 日	被 招 聘 者	招 聘 目 的
19.4.24	Andrei Zvelindovsky セントラルランカシャー大学(イギリス)	中性子小角散乱実験と理論との比較・検証について講演及び討論
19.9.27 ~ 19.11.17	Asokendu Mozumder ノートルダム大学 放射線研究所、 エネルギー省(アメリカ)	放射線と物質の相互作用に関する研究について情報・意見交換(日本学術振興会外国人招へい)

## 日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター 国際シンポジウム

### 第7回先端基礎研究国際シンポジウム

#### 「荷電粒子およびフォトンの物質との相互作用」

#### ASR2007 Charged Particle and Photon Interactions with Matter

本センターでは、毎年、研究テーマの中から一つを選んで、「先端基礎研究センター国際シンポジウム」を開催しています。今年度は標記のテーマで、下記のとおり開催いたします。

日 程:2007年11月6日(火)~9日(金)

会 場:先端基礎研究交流棟

内 容:(1)荷電粒子およびフォトンと分子との衝突過程

(2)電子およびイオンの凝縮相中での振舞いと反応

(3)電子の固体表面・界面との相互作用

(4)重イオンの特異的相互作用

(5)エキゾチック粒子(陽電子、ポジトロニウム、ミューオン、ミューオニウム等)の相互作用

(6)超高速パルスラジオリシス法

(7)超臨界水系における基礎課程

(8)高分子系における基礎課程

(9)注体系における基礎課程(特にDNA損傷と修復過程)

(10)産業応用、医学的応用

シンポジウムのテーマの背景

最近出版された“Charged Particle and Photon Interactions with Matter”(eds. by A. Mozumder and Y. Hatano, Marcel Dekker Inc., New York, 2004)は、Röntgen、Curie以降の過去100年間にわたる放射線作用研究とその基礎となる衝突研究の成果を国際的なプロジェクトのもとでまとめたものです。今回のシンポジウムは、これと同じ標題ですが、今までの成果をまとめるのではなく、新たに形成された研究上の接点における最近の進歩と今後の展望を中心に情報・意見交換を行うことを主な目的としています。

ASR2007 準備委員会  
先端基礎研究センター  
放射線作用基礎過程研究グループ  
TEL: 029-284-3829 FAX: 029-282-5927  
Email: asr2007@jaea.go.jp

プログラム等の詳細はホームページをご参照ください。  
<<http://asrc.tokai-sc.jaea.go.jp/eng/ASR2007/index.html>>